

1	正負の数：正負の数	年 組 番	／ 10 問
	符号のついた数	名前	

【知】 1 次の□にあてはまるものを書き入れなさい。

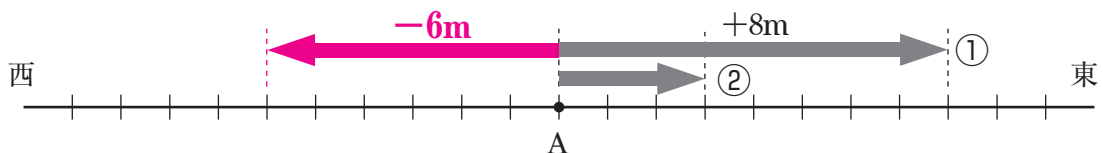
- (1) 0°C より 10°C 低い温度は、-10 $^{\circ}\text{C}$ と表すことができ、「マイナス 10°C 」と読みます。
- (2) 整数には、1, 2, 3 のような正の整数と、-1, -2, -3 のような負の整数と、0 があります。
- (3) 1000 円の収入を +1000 円と表すことにしたとき、-500 円は 500 円の支出を表しています。
- (4) 正の整数のことを自然数ともいいます。

注意! 0 は自然数にはふくまれない。

【図】 2 次の数量を、+、- の符号のついた数で表しなさい。

- (1) 体重が 2kg 増加したことを +2kg と表すとき、体重が 1.5kg 減少すること。
 ●増加を + の符号で表しているので、反対の減少は - の符号で表す。
ポイント 反対の性質をもつ量を、正の数、負の数で (-1.5kg) 表すことができる。
- (2) A 地点から北へ 20m 移動することを +20m と表すとき、A 地点から南へ 10m 移動すること。
 (-10m)
- (3) 今日の最高気温の予想が、前日の最高気温より 2°C 高いことを + 2°C と表します。前日の最高気温が 17°C で今日の予想最高気温が 16°C のとき、今日の予想最高気温の前日との比較。
 ●前日より 1°C 低いので、- の符号をつけて - 1°C とする。
 (-1 $^{\circ}\text{C}$)

【図】 3 地点 A から東へ 8m 移動することを +8m とし、矢印で下図①のように表しました。次の問いに答えなさい。



- (1) 矢印②を +、- の符号を使って表すとどのように表せますか。
 (+3m)
- (2) 西へ 6m 移動することを、図中に矢印と数値で表しなさい。
 ●西の方向へ移動するので、左向きの矢印と - の符号をつけた数値で表す。



正負の数：正負の数
符号のついた数、
数の大小

年 組 番
名前

数学的な考え方 / 3問
技 能 / 9問
知識・理解 / 1問
/ 100点



【1】(2) 3 (2) 各5点, ほかに各10点

技 1 次の問いに答えなさい。

(1) 次の数量を, +, - の符号のついた数で表しなさい。

① 2500 円の収入を +2500 円と表すとき, 2500 円の支出。

●収入が + なら, 支出は - で表す。 (-2500 円)

② 23kg の増加を +23kg と表すとき, 14kg の減少。

(-14kg)

(2) 下の表は, ある店の1週間の弁当の販売数です。水曜日の販売数を基準にしたときの木曜日～日曜日の販売数を, 多い場合は正の数, 少ない場合は負の数で表しなさい。

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
販売数	92	86	85	76	83	104	123

●水曜日の販売数が基準なので, 85 との差に符号をつける。

木曜日 (-9) 金曜日 (-2)

土曜日 (+19) 日曜日 (+38)

技 2 次の問いに答えなさい。

(1) 次の各組の数の大小を, 不等号を使って表しなさい。

① -2, -1.5, 0 (-2 < -1.5 < 0)

【注意】 負の数は絶対値が大きいほど小さいことに注意。

② +0.8, -1.3, +0.05 (-1.3 < +0.05 < +0.8)

③ $-\frac{1}{2}$, $+\frac{1}{3}$, $+\frac{1}{2}$ ($-\frac{1}{2} < +\frac{1}{3} < +\frac{1}{2}$)

(2) 絶対値が3である自然数を答えなさい。

ミスしやすい 負の数は自然数ではないので, -3は適さない。

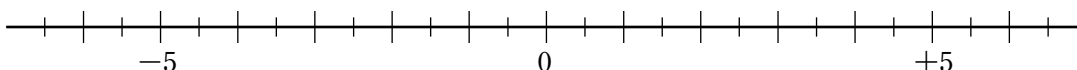
(3)

考 3 次の問いに答えなさい。

(1) 正負の数を用いて表すことができるものは, どのような性質をもつ量ですか。

(反対の性質)

(2) 数直線上では, -3 と -1 のどちらが右側にありますか。また, そのことから, どちらが大きいと判断できますか。



右側 (-1) 大きいほう (-1)

1	正負の数：正負の数 符号のついた数、 数の大小	年 組 番 名前	/ 24 問
---	-------------------------------	-----------------	--------

知

①符号のついた数

+3 や +5 のような数を正の数といい、-2 や -0.5 のように **負** の符号のついた数を **負の数** という。

温度が0℃より10℃高いときは、+10℃と表す。0℃より10℃低いときは **-10**℃と表し、「**マイナス** 10℃」と読む。

整数には、正の整数、0、**負の整数** があり、正の整数を **自然数** ともいう。

②数の大小

数直線の右の方向を **正の方向** といい、数直線上で右にある数ほど **大きい** といえる。

また、数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離をその数の **絶対値** という。

図 1 次の数量を、+、- の符号のついた数で表しなさい。

- (1) ある山の標高(海面からの高さ)は2568mです。この山の標高を基準として、高い場合を+、低い場合を-で表すことにしました。このときのA山(標高2077m)の高さ。

● $2568 - 2077 = 491$ より、491m低いので、**-491**m

- (2) 学校の正門から北へ100m移動することを+100mと表すとき、学校の正門から南へ200m移動すること。

●北と南は向きが反対なので、北へ移動することを正の数(+)を **-200**m 使って表すと、南へ移動することは、負の数を使って表すことができる。よって、**-200**m。

- (3) 海面から5mの高さを+5mと表すとき、海面から2mの深さ。

●深さは、海面からの高さとは反対だから、負の数を使って表すことができる。よって、**-2**m。

- 図 2 右の表は、あるレストランで新メニューの販売^{はんばい}を始めてから4日間の、新メニューの販売数です。1日目の販売数を基準にしたとき、2日目～4日目の販売数を、多い場合は正の数、少ない場合は負の数で表しなさい。

日	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目
販売数	63	59	76	61

●基準は1日目の販売数なので、63 との差を考える。

2 日目 (**-4**)

2 日目は、63 より $63 - 59 = 4$ 少ないから、負の数で表すと、**-4**。

3 日目 (**+13**)

3 日目は、販売数が多いので、 $76 - 63 = 13$ より、**+13**。

4 日目は、販売数が少ないので、 $63 - 61 = 2$ より、**-2**。

4 日目 (**-2**)

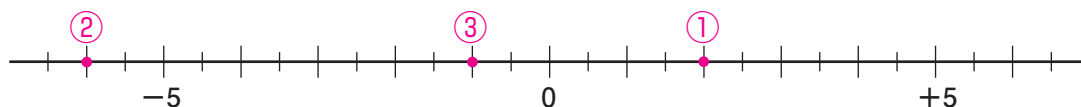
- 図 3 下の数直線上に、次の数に対応する点を表しなさい。

① +2

② -6

注意! 数直線の目もりに注意。下の数直線では、1 目もりが **0.5** である。

③ -1



- 図 4 次の各組の数の大小を、不等号^{ふとうごう}を使って表しなさい。

① 0, +1

② +2, -2

解法テク 正の数は絶対値が大きいほど、負の数は絶対値が小さいほど大きいことから判断する。

(**0 < +1**)

(**-2 < +2**)

●正の数は0より大きい。

●正の数は0より大きく、負の数は0より小さい。

③ -0.5, -2, +1

④ -3, -5, -7

(**-2 < -0.5 < +1**)

(**-7 < -5 < -3**)

解法テク 数直線で左にある数から順に並べ、<でつなげばよい。

- 図 5 次の数の絶対値^{ぜったいち}を答えなさい。

① +1.5

② -1.5

(**1.5**)

(**1.5**)

ポイント 数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離が絶対値だから、**+1.5** と **-1.5** の絶対値は、**1.5** で等しい。絶対値を求めるには、その数の符号をはずせばよい。

1	正負の数：正負の数 符号のついた数、 数の大小	年 組 番	／9問
	名前		

【技考】1 次の数量を，＋，－の符号のついた数で表しなさい。

【技】(1) 今日から3日前を－3日と表すとき，10日後。

(+10日)

【技】(2) 数直線上で，0より6の距離だけ右にある点に対応する数。

●数直線では，0(原点)より右側は正の数に対応している。

(+6)

【技】(3) 数直線上で，0より7の距離だけ左にある点に対応する数。

(-7)

【考】(4) 赤組と白組で綱引きをしました。綱のまん中の印が，赤組側に50cm移動したことを－50cmと表すとき，印が白組側に80cm移動したこと。

●反対側に移動したので，＋とする。

【注意！】このような場合，どちらを＋に決めたかがポイントである。
左右は関係ない。

(+80cm)

【技考】2 次の問いに答えなさい。

【技】(1) 次の数の絶対値を答えなさい。

① -99.9

② $-\frac{2}{5}$

(99.9)

($\frac{2}{5}$)

③ +0.12

④ -145

(0.12)

(145)

【考】(2) 2つの負の数があります。一方の数の絶対値が0.35，もう一方の数の絶対値が $\frac{1}{3}$ であるとき，2つの数の大小を不等号を使って表しなさい。

●絶対値の大小を比べる。負の数なので絶対値の小さいほうが大きい数である。 $\frac{1}{3}$ は，0.33…なので0.35より絶対値が小さい。

($-0.35 < -\frac{1}{3}$)



正負の数：正負の数 符号のついた数、 数の大小

年 組 番
名前

数学的な考え方 / 3問
技 能 / 9問
知識・理解 / 1問
/ 100点



【1】(2) 3 (2) 各5点, ほか各10点

技 1 次の問いに答えなさい。

(1) 次の数量を, +, - の符号のついた数で表しなさい。

① 2500 円の収入を +2500 円と表すとき, 2500 円の支出。

●収入が + なら, 支出は - で表す。 (-2500 円)

② 23kg の増加を +23kg と表すとき, 14kg の減少。

(-14kg)

(2) 下の表は, ある店の1週間の弁当の販売数です。水曜日の販売数を基準にしたときの木曜日～日曜日の販売数を, 多い場合は正の数, 少ない場合は負の数で表しなさい。

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
販売数	92	86	85	76	83	104	123

●水曜日の販売数が基準なので, 85 との差に符号をつける。

木曜日 (-9) 金曜日 (-2)

土曜日 (+19) 日曜日 (+38)

技 2 次の問いに答えなさい。

(1) 次の各組の数の大小を, 不等号を使って表しなさい。

① -2, -1.5, 0 (-2 < -1.5 < 0)

【注意】負の数は絶対値が大きいほど小さいことに注意。

② +0.8, -1.3, +0.05 (-1.3 < +0.05 < +0.8)

③ $-\frac{1}{2}$, $+\frac{1}{3}$, $+\frac{1}{2}$ ($-\frac{1}{2} < +\frac{1}{3} < +\frac{1}{2}$)

知 (2) 絶対値が 3 である自然数を答えなさい。

【ミスをしやすい】負の数は自然数ではないので, -3 は適さない。

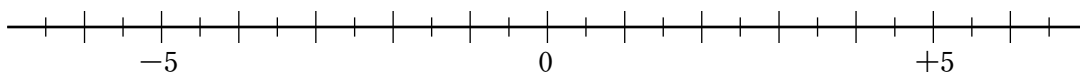
(3)

考 3 次の問いに答えなさい。

(1) 正負の数を using 表すことができるものは, どのような性質をもつ量ですか。

(反対の性質)

(2) 数直線上では, -3 と -1 のどちらが右側にありますか。また, そのことから, どちらが大きいと判断できますか。



右側 (-1) 大きいほう (-1)